

農学委員会 応用昆虫学分科会（第24期・第1回）議事要旨

日時：平成29年12月8日（金）15:00–17:20

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟1階第1会議室

出席者：池田素子、小野正人、澤邊京子、塩尻かおり（スカイプ参加）、志賀向子、嶋田透、大門高明、辻和希、沼田英治、深津武馬、石川幸男（オブザーバー；日本昆虫科学連合代表）

欠席者：なし

議題

- （1）委員長および役員を選出
- （2）前期（第23期）における応用昆虫学分科会の活動報告
- （3）今期（第24期）の当分科会の活動について
- （4）日本学術会議と日本昆虫科学連合の共催公開シンポジウムについて
- （5）日本昆虫科学連合の活動の報告
- （6）その他

配布資料

- 【1】応用昆虫学分科会委員名簿（第24期 2017.11.24 現在）
- 【2】応用昆虫学分科会（第23期最終回 2017.7.22）議事録
- 【3】応用昆虫学分科会活動報告（第23期最終年度下半期 2017.4–9月）
- 【4】公開シンポジウム（日本昆虫科学連合との共同主催 2017.7.22）事後報告
- 【5】23期記録「衛生害虫による被害の抑制をめざす衛生動物学の教育研究の強化」（2017.8.31 応用昆虫学分科会）
- 【6】報告「生産農学における学部教育のあり方について」（2017.6.28 農学分科会）
- 【7】連携会員説明会（2017.11.2）応用昆虫学分科会説明資料
- 【8】特任連携会員推薦様式
- 【9】日本学術会議農学委員会（第24期第1回）議事要旨案
- 【10】昆虫科学連合の活動報告（来年の公開シンポジウムの計画を含む）

議事

(1) 委員長および役員を選出

- ・出席委員の互選により、小野委員が委員長に選出された。
- ・小野委員長により、副委員長として池田委員、幹事として嶋田委員、大門委員が指名された。

(2) 前期(第23期)における応用昆虫学分科会の活動報告

- ・資料【2】に基づき、嶋田幹事(第23期応用昆虫学分科会委員長)より前回(第23期・第5回)の応用昆虫学分科会の議事録の報告があった。
- ・資料【3】に基づき、嶋田幹事より前期(第23期最終年度下半期)における応用昆虫学分科会の活動が報告された。
- ・資料【4】に基づき、嶋田幹事より公開シンポジウム「昆虫の恵み—その多面性—」(平成29年7月22日開催)等の概要の報告がなされた。
- ・資料【5】に基づき、嶋田幹事より第23期記録「衛生害虫による被害の抑制をめざす衛生動物学の教育研究の強化」(平成29年8月31日;文書番号SCJ第23期290831-23421000-019)についての報告がなされた。
- ・資料【6】に基づき、嶋田幹事より、報告「生産農学における学部教育のあり方について」(2017年6月28日農学分科会)が紹介された。

(3) 今期(第24期)の当分科会の活動について

- ・資料【9】に基づき、池田副委員長より農学委員会(第24回・第1回)議事要旨案が報告された。
- ・第23期に記録として残した「衛生害虫による被害の抑制をめざす衛生動物学の教育研究の強化」について、第24期中に食料科学委員会獣医学分科会および基礎医学委員会病原体学分科会と共同で提言として発出する方針を確認し、提言発出に向けたスケジュールを検討した。
- ・第24期に新たにとりあげる提言・報告のテーマを議論し、「農学系学士課程における昆虫学教育のあり方」について検討を進めることとした。
- ・上記新テーマの検討にあたり尽力頂く第24期の特任連携会員の推薦について、次回または次々回の分科会に被推薦者を選定することとした。

- ・第27回国際昆虫学会議招致委員会の活動について沼田委員より報告され、日本学術会議との連携について検討した。

(4) 日本学術会議と日本昆虫科学連合の共催公開シンポジウムについて

- ・資料【10】に基づき、平成30(2018)年の日本学術会議と日本昆虫科学連合との共催公開シンポジウムの予定について、石川オブザーバーから報告された。開催日程については、平成30(2018)年7月28日(土)13:00~16:45(於:東京大学農学部1号館8番教室)、同日の午前中に分科会と連合の総会を行うことで承認された。シンポジウムのメインテーマは、平成29(2017)年と同じ「昆虫の恵みー(副題未定)」とし、副題を変えることとした。なお、当分科会からは小野委員長と池田副委員長の2名が、運営に参加することとした。

(5) 日本昆虫科学連合の活動の報告

- ・資料【10】に基づき、日本昆虫科学連合の活動報告が石川オブザーバーから報告された。

(6) その他

なし

以上